木更津工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	工学演習Ⅱ

科目基礎情報

科目番号	0156	科目区分	専門 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	適宜、資料を配布する		
担当教員	青葉 知弥		

到達目標

1. 機械工学の基礎科目および専門科目について補習、演習を行い、基礎学力の充実を図る
2. 技術者に要求される応用力を複数の科目にわたる総合的な演習により養う

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	機械工学の基礎科目および専門科目について補習、演習を行い、十分な基礎学力を身に付けた	機械工学の基礎科目および専門科目について補習、演習を行い、おおよその基礎学力を身に付けた	機械工学の基礎科目および専門科目について補習、演習を行わなかった.
評価項目2	技術者に要求される応用力を複数の科目にわたる総合的な演習によって十分に身に付けた	技術者に要求される応用力を複数の科目にわたる総合的な演習によっておおよそ身に付けた	技術者に要求される応用力を身に付けなかった

学科の到達目標項目との関係

準学士課程 2(2) 専攻科課程 B-2
JABEE B-2

教育方法等

概要	既に学んだ機械工学の基礎科目および専門科目について補習、演習を行い、基礎学力の充実を図ると共に、技術者に要求される応用力を複数の科目にわたる総合的な演習により養う。
授業の進め方・方法	教員が課題を説明した後，学生は演習を行う．期限までに課題を学生は提出する.
注意点	既に学んだ関連科目の教科書を参考にしながら復習を充分行う。

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	機械工学の基礎科目についての補習、演習	機械工学の基礎科目について十分な基礎学力を身に付ける
		2週	機械工学の基礎科目についての補習、演習	機械工学の基礎科目について十分な基礎学力を身に付ける
		3週	機械工学の基礎科目についての補習、演習	機械工学の基礎科目について十分な基礎学力を身に付ける
		4週	機械工学の基礎科目についての補習、演習	機械工学の基礎科目について十分な基礎学力を身に付ける
		5週	機械工学の基礎科目についての補習、演習	機械工学の基礎科目について十分な基礎学力を身に付ける
		6週	機械工学の基礎科目についての補習、演習	機械工学の基礎科目について十分な基礎学力を身に付ける
		7週	機械工学の基礎科目についての補習、演習	機械工学の基礎科目について十分な基礎学力を身に付ける
		8週	機械工学の基礎科目についての補習、演習	機械工学の基礎科目について十分な基礎学力を身に付ける
	2ndQ	9週	機械工学の専門科目についての補習、演習	機械工学の専門科目について十分な応用力を身に付ける
		10週	機械工学の専門科目についての補習、演習	機械工学の専門科目について十分な応用力を身に付ける
		11週	機械工学の専門科目についての補習、演習	機械工学の専門科目について十分な応用力を身に付ける
		12週	機械工学の専門科目についての補習、演習	機械工学の専門科目について十分な応用力を身に付ける
		13週	機械工学の専門科目についての補習、演習	機械工学の専門科目について十分な応用力を身に付ける
		14週	機械工学の専門科目についての補習、演習	機械工学の専門科目について十分な応用力を身に付ける
		15週	機械工学の専門科目についての補習、演習	機械工学の専門科目について十分な応用力を身に付ける
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	課題	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	100	100

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0